

「宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部」の“今”を伝えます

報道関係各位

2011年11月



〔作者〕イラストレーションコース 2年 松田 涼子さん

イラストレーションコース作品集「青い鳥」原画展 開催
期間:2011年11月15日(火)~11月29日(火) / 会場:小田急百貨店 新宿店 本館 / 入場:無料

＜宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部に関する情報のお問合せ＞

宝塚大学 東京 新宿キャンパス 広報室

担当:金澤、山本 TEL:03-3367-3411

＜ご掲載・写真データ等に関するお問合せ＞

宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 広報事務局 共同 PR 株式会社

担当:江頭、高橋、菅野 TEL:03-3571-5228

学生クリエイターズ・フェスタに参加

アートを通じて「人とまち」を繋ごうという「学生クリエイターズ・フェスタ in 新宿 2011」が新宿・歌舞伎町を中心にこのほど開かれ、本学からは学生たちが作品を出展、また、様々なイベントに参加してフェスタの盛り上げに貢献しました。

10月15日から9日間にわたって開かれたフェスタには新宿区内をはじめ、全国各地の大学・専門学校の学生たちが参加し、公共空間を使ったアート作品の展示・上映など、東日本大震災復興支援を目的として多彩なイベントが催されました。

歌舞伎町シネシティ広場では、本学の軽音楽部の学生たちによるライブパフォーマンスが行われました。バンド演奏のさ中に後ろの壁面に絵を描くライブペインティングは、歌舞伎町独特の雰囲気と相まって、訪れた人々から感嘆の声があがっていました。

また、大久保公園で催されたアートバザールには宝塚大学のブースを出店。学生たちが似顔絵描きなどを行って賑わいをみせていました。



好評を博したライブパフォーマンス



似顔絵描きの様子

最終日にはコンペティションの授賞結果が発表され、「デジタル映像・ストーリー部門」でアニメーションコース4年の瀬之口 拓磨さん、安藤 尚也さん、伊藤 正樹さん、潮田 善幸さん、荻島 浩太さんらによる「ぼくのみち」が優秀賞（賞金3万円）を受賞。また、アニメーションコース3年の岡崎 あずささんらによる「夜来香」、同じくアニメーションコース3年の鶴本 結希さんらによる「メロディー」が佳作（賞金1万円）を受賞しました。

「デジタル映像・CM部門」では、ゲームコース3年の江幡 直之さんによる「続く繋がり」が、一般人気投票（展示会場にてWiFineネットワークを利用してモバイル端末から投票）で1位を獲得しました。

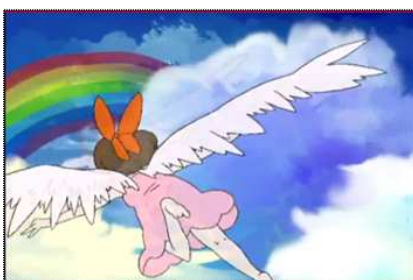


優秀賞を受賞した学生たち

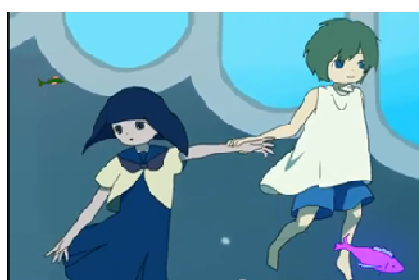


「ぼくのみち」

■作品



「メロディ」



「夜来香」



「続く繋がり」

受賞作品は下記よりご覧いただけます。

■宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 You Tube チャンネル

URL : <http://www.youtube.com/user/TAKARAZUKAuniv>

■学生クリエイターズフェスタ in 新宿

URL : http://www.sccf.jp/works/works_top.html

1.HOT TOPICS－②

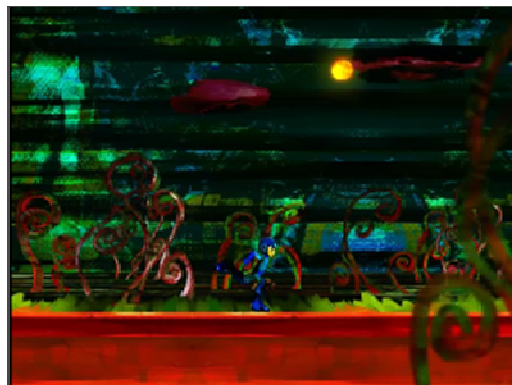
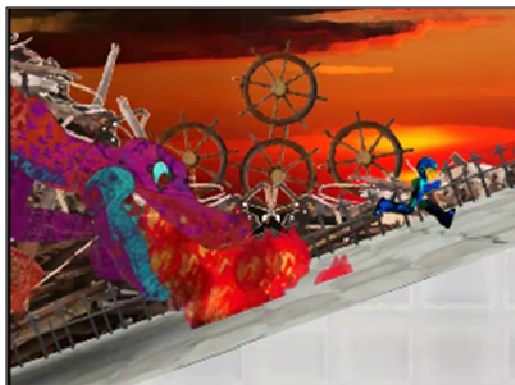
ASIAGRAPH 「ロックマンアワード 2011」 江幡 直之さんの作品が準優秀に

ゲームコース 3 年の江幡 直之さんが制作した CG 作品「ロックマン ナイトメア」(動画)が、「ASIAGRAPH (アジアグラフ) 2011 in Tokyo」の特別公募部門「ロックマンアワード 2011」で準優秀作品に選ばれました。

アジアグラフは、デジタルコンテンツエキスポ(デジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、企業関係者等が参加し、デジタルコンテンツ産業の将来像を描き出す国際的イベント)のアート部門として日本科学未来館(東京都江東区)で 10 月末に開催され、アジアの CG クリエイターによる招待作品の展示が行われました。

今回、特別部門として新たに「ロックマンアワード 2011」が設けられ、アジア各地から静止画・動画作品の応募がありました。江幡さんの作品「ロックマン ナイトメア」は、動画部門で準優秀作品に選ばれ、審査員より高い評価を受けました。

本学は、アジアグラフの CG アートギャラリー展示ブース設営などに、川村 順一学部長をはじめ、ゲームコースの教員や学生が協力しました。



「ロックマン ナイトメア」江幡 直之 © CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

江幡さんの作品は下記の URL からご覧いただけます。

東京メディア・コンテンツ学部「学生作品」: <http://www.takara-univ.ac.jp/sakuhin/>

【 ロックマンアワード 2011 】

ASIAGRAPH 2011 in Tokyo では、特別公募部門として、株式会社カプコンのゲーム「ロックマン(英語名 MEGAMAN)」をテーマに CG 作品の公募を行いました。世界中から大きな支持を得ている「ロックマン」のキャラクターや世界観、ビジュアルなどを制作モチーフとして多くのクリエイターに開放したことで、創造力とイマジネーションが拡大し、新たな「ロックマン」の魅力が発揮された作品が、アジア中から集まりました。

© CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

1.HOT TOPICS—③

インターリンク・学生映像作品展

アニメコースから出展

日本国内の映像系の大学・専門学校、約 20 校の教員推薦による学生優秀作品を集めた「インターリンク学生映像作品展 (ISMIE2011)」(主催：日本映像学会・映像表現研究会) が京都市で開催され、アニメーションコースの学生・卒業生が制作した作品が上映されました。

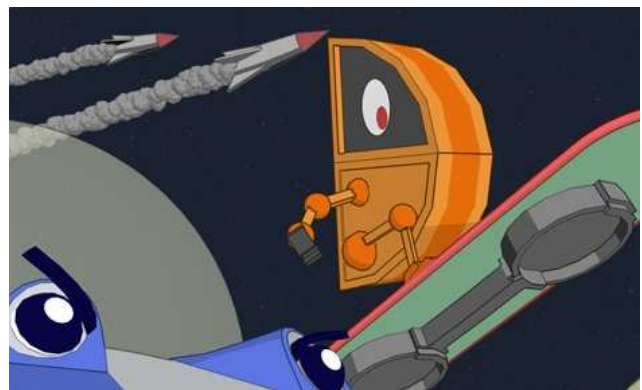
出品されたのは、第 1 期卒業生の 3 作品と現役の 3 年生たちによるグループ制作の作品を合わせ 4 作品。今回で 5 回目となる同展は、10 月 14 日から 3 日間、「京都メディアアート週間 2011」のプログラムの一環として京都市四条烏丸の kara-S(カラス)で開催されました。東京では 11 月 26～27 日に、東京オペラシティタワー 32 階「アップルジャパンセミナールーム」で行われます (シンポジウムを 26 日 18 時より開催予定)。

「インターリンク・学生映像作品展」は、映像制作に励む学生同士が、互いの作品を見る機会を増やすことを目的としています。作品展を通して、今日的な問題意識の差異や共通性を見い出して見識を深めると同時に、学生たちの交流の場とする狙いも込められています。

■出品作品



『ちゃんねる』
石井 歩 (2010 年度・卒業制作)



『star race』
後藤 光 (2010 年度・卒業制作)



『惚れ薬』
三宅 絵美子 (2010 年度・卒業制作)



『ぼくのみち』
安藤 尚也、伊藤 正樹、潮田 善幸
荻島 浩太、瀬之口 拓磨 (2010 年度・3 年次生作品)

1.HOT TOPICS—④

震災復興支援イベント

歌舞伎町農山村ふれあい市場に参加

新宿区内の恒例行事となった「歌舞伎町農山村ふれあい市場」が6日に大久保公園で開かれ、新宿キャンパスではブースを出し、有志の学生たちが、チャリティでの似顔描きや、ライブペインティングを実施して訪れた人々から喜ばれました。

ふれあい市場は、歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちに再生する取り組み「歌舞伎町ルネッサンス」の一環として、新宿区民と農山村との交流、地域振興、まちのにぎわいづくりを目的に昨年7月から定期的に行われているイベントです。



ライブペインティング完成作品

4回目を迎えた今回は、福島、宮城、岩手など震災の被災地や原発事故によって風評被害を受けている地域からも出店があり、被災地支援の募金活動やジャズライブ、K-POP ライブなどが行われ、来場者は3,500人を超えました。

本学は9月に「歌舞伎町タウン・マネージメント（TMO）広報大使」に就任しました。今後ともTMOと協力し、歌舞伎町の魅力を広く発信していくことにしています。



チャリティ 似顔絵描き

■第4回歌舞伎町農山村ふれあい市場

【主催】歌舞伎町農山村ふれあい実行委員会

【共催】歌舞伎町タウン・マネージメント

【後援】新宿区、歌舞伎町二丁目町会、歌舞伎町商店街振興組合、新宿区消費者団体連絡会、東京飯田橋ライオンズクラブ

1.HOT TOPICS—⑤

COMITIA98 にブース出展

マンガコースの学生が中心となり、『COMITIA98』（第 98 回：自主制作漫画誌即売会）の「マンガ専攻大学・専門学校オープンレッグ企画」にブースを出展しました。10 月末に開催された今回のコミティアには、約 3 千サークルが参加し大盛況となりました。出展ブースでは、東京メディア・コンテンツ学部（新宿キャンパス）の作品集「NEO」、造形芸術学部（宝塚キャンパス）の作品集「WeCom」の配布や、学生作品の販売・展示、本学の紹介を行いました。

コミティアには人気の同人誌作家や、独学でマンガの描き方を身につけた人の出展が多く、プロの漫画家から漫画の描き方を体系的に学ぶことができる本学は、来場者の注目を集めていました。

なお、2012 年 2 月に開催予定の『COMITIA99』にもブースを出展する予定です。

■コミティア（自主制作漫画誌即売会）

URL : <http://www.comitia.co.jp/>



作品集「NEO」表紙



出展ブースの様子

1.HOT TOPICS—⑥

ひのみさき 「日御碕神社」のデジタル掛け軸 渡邊 准教授がスタッフとして参加

島根県出雲市の日御碕神社で「デジタル掛け軸 DK-LIVE」*の公開デモンストレーションがこのほどに行われ、渡邊 哲意 准教授がスタッフとして参加しました。

デジタル掛け軸とは、デジタルアーティストの長谷川 章氏により考案された独創的なライトアップの手法で、100 万枚に及ぶデジタル映像を組み合わせ、歴史的な建造物や雄大な自然などに映写し、幻想的な空間を創り上げるものです。

「デジタル掛け軸 DK-LIVE」は、2012 年 7 月 21 日（土）から 11 月 11 日（日）の期間に開催されるイベント「神話博しまね」で、県内各地の神話ゆかりの地など十数カ所を約 3 週間かけて巡回する形で実施します。今回は、そのデモンストレーションとして、一般公開で行われました。

当日は曇りがちの天候の中、日御碕神社には日没前から多くの人々が訪れ、目の前の幻想的な風景を楽しんでいました。

渡邊 准教授はこれまで、東京都庁、鳥取砂丘「砂の美術館」、二条城のデジタル掛け軸の演出にも関わった他、中国をフィールドに、映像表現を用いた臨場感のある音楽ライブの演出に関する調査・研究を行っています。



日御碕神社（島根県出雲市）での「デジタル掛け軸 DK-LIVE」の様子

* デジタル/掛け軸（D-K）

デジタルアーティストの長谷川 章氏が考案した独創的なライトアップ手法で、100 万枚に及ぶデジタル映像をコンピューターにアトランダムに組み合わせ、歴史的な建造物や雄大な自然などに映写して、幻想的な空間を創り上げる世界初のアートスタイル。偶然の連続で創り出される映像は、二度と同じものを見ることができない一期一会のアートとも言える。オーロラのようにゆらぎながら変化していく映像は、一人ひとりの受け止め方が異なり、まるで心象風景のような光景は見た人の心を釘付けにする。茶の世界では茶室の何もない空間に掛け軸を飾ることで世界観が表れる…まさに「色即是空、空即是色」に通じる東洋思想から「デジタルカケジク」の名称が生まれた。

2.各コース紹介

イラストレーションコース

授業紹介

グラフィックデザインⅢ（必修） 〔 受講学年：3年 担当教員：松吉 太郎 〕

この授業での課題は、C I（コーポレート・アイデンティティ）の制作。生徒が架空の会社を想定し、その会社のV I（ヴィジュアル・アイデンティティ）を考えます。

そのために、まずは、“どのような業種の会社にするか”や“企業名とその由来”、“会社のキャッチフレーズ”などを考え、制作するロゴのイメージを膨らませます。

最終的には、“どのような企業を設立して、どのようなデザインのロゴにするのか”、そして“そのロゴを用いてどのような商品・サービスを展開していくのか”についてまとめた企画書を制作し、プレゼンテーションを実施します。

授業は主に、学生が個々で課題に取り組み、作成した企画書やロゴへのアドバイスを松吉講師から受け、内容をさらにブラッシュアップしていくスタイルで行われます。

たとえば、コーヒーショップのロゴを考えている学生に対しては、「コーヒーカップにこのロゴが入ったらどうなるかを想像してみる」ことや「ファサードにデザインされたらどのような印象になるか」といった、デザインが利用される場面をイメージする必要性などについてアドバイスをし、デザインをするうえでの新たな気づきを促していきます。

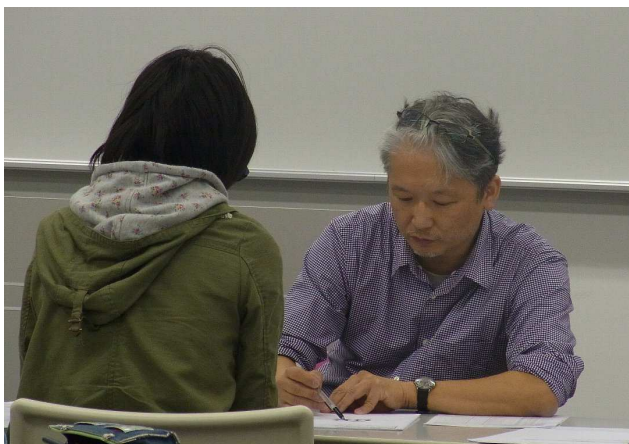
松吉講師は「アイデアの出し方や考えを具現化すること、イラストレーションやデザインとビジネスがどうつながっていくかということ、この授業の中で体感してもらいたい」と、この授業の意義について話していました。



松吉 太郎 講師



ロゴマーク 100 案制作の課題に取り組む学生



学生の課題にアドバイスする松吉講師

3.教員紹介

高田 美苗 講師

絵画としてのイラストレーション

私は株式会社サンリオに就職し、2年間ほどハローキティやスヌーピーのデザインに携わっていました。しかし、イラストレーターになりたいという思いがあり、会社を辞めて、出版社主催のコンテストに応募するようになりました。その後、銅版画作家の友人に教わって銅版画を始めたり、イラストやデザイン以外にも興味のある分野には積極的に関わりました。最近では混合技法（油彩とテンペラを併用する古典的な絵画の技法）を始めるようになり、その時々で夢中になることが変わっていくタイプだと思います。3年程前までは銅版画に集中して取り組んでいましたが、企画展に参加する機会が増え、必ず見に来てくださる方のために、毎回、新作を出品したいという思いから、制作に時間のかかる銅版画から、現在はタブロー（一般的に、1点ものの絵画等）にシフトしつつあります。



高田 美苗 講師

イラストレーションは印刷物や映像、最近ではwebなどの媒体によって情報を伝達することを目的とした“絵”です。時に“絵”が主役となる事もある書籍の表紙から、作家性を必要としない図版まで、巾広くイラストレーションの範疇です。従来は、イラストレーションとファインアートの世界には、強固な境界が存在しました。しかし、本学のイラストレーションコースの教授である北見 隆さんは、イラストレーションとファインアートの境目を無くした先がけと言える存在です。例えば本の装画や装丁で使われる北見さんの作品は、原画自体が絵画として高く評価されています。私も、そのような存在を目指しています。

この度、作品集「青い鳥」の原画展が開催されることになりました。作品集は、7人の学生の編集委員が中心となり、本の表紙や帯のデザイン、印刷所との折衝など、全て学生たちの手で作り上げています。私は、学生たちのイメージを印刷物にまで実現させる手伝いをしましたが、学生の成長を強く感じました。原画展は作品集とは違い、お客さんの反応があるので、その反応が学生にとっての新たな喜びになると思います。

最終的にイラストだけで食べていける作家は少ないと思います。しかし、本気でイラストレーターを目指すのであれば、あきらめないで描き続けて欲しい。イラストレーションコースは、来年の3月に初めての卒業生を送り出します。いまは、学生の成長を感じる事が最もうれしく、また頼もしくもあります。

<高田 美苗 (たかだ みなえ) >

女子美術大学産業デザイン科、株式会社サンリオでデザイナーとして勤務後、フリーのファンタジー系イラストレーターとして活動、著作「もののけ化石の物語」等。2004年、「第54回 板院展」新人賞受賞、2007年、「第27回 カダケス国際ミニプリント展」ファイナリストに入選、2008年～2010年、同展で入選等。

国際幻想芸術協会（IFAA）所属。

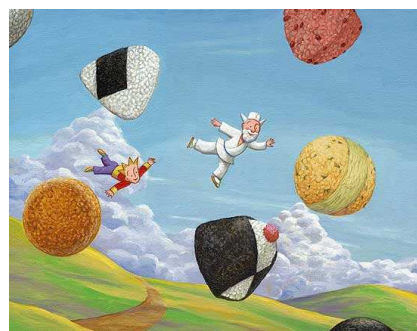
本学で「キャラクターデザイン」、「エディトリアルデザイン」等の授業を担当。

4.今後の予定

<作品展>

■ 伊藤 正道 展 「マフィー&ジオ 空とぶレシピ」

期 間：2011年11月22日（火）～11月27日（日）
会 場：ギャラリーMalle（東京都渋谷区恵比寿）
内 容：イラストレーションコース 伊藤 正道 講師のキャラクター「マフィーくんとジオじいさん」の作品展です。



■ 「少女幻想 ー少女を巡る幻想ー」

期 間：11月23日（水・祝）～12月10日（土）
会 場：SPAN ART GALLERY（東京都中央区銀座）
内 容：「少女」をテーマにした作品展。本学イラストレーションコースから、北見 隆 教授、高田 美苗 講師の2人が出展します。



■ 「refrain」ー18名のイラストレーターによるメメント・モリ

期 間：12月12日（月）～12月24日（土）
会 場：ギャラリーハウス MAYA（東京都港区北青山）
内 容：18人のイラストレーター達が、かつて創作された名曲名文学を通して、2011年の生と死への想いを描いた展覧会です。
本学イラストレーションコースからは、北見 隆 教授、城芽 ハヤト 講師、高田 美苗 講師の3人が出展します。



■ 書籍『光になった馬。ーたったひとつのー』発売中

歌手のEPOさんが執筆した、馬の3兄弟が主人公の心温まる童話「光になった馬 ーたったひとつのー」に、その夫で本学講師を務める俳優・宮川 雅彦氏による朗読と、EPOさんの名曲「たったひとつの」をセットにしたCDブックが発売中です。なお、作品の売上の一部は、震災で両親または片親を亡くした子供たちを、20歳になるまで応援するための給付金として役立てられます。



■ ブラウザカードゲーム『決戦！戦国 VS 三国志』配信中

芦谷 耕平講師がスタッフとして参加した、株式会社ユビキタスエンターテインメント提供のブラウザカードゲーム『決戦！戦国 VS 三国志』が、Mobage(モバゲー)(URL:<http://mbga.jp>)にて配信中です。芦谷講師は、ゲーム内グラフィック（イラスト、アニメーション）を担当しています。

